

第17回「丹波篠山市展」への出品作品を募集します

11月14日から20日まで開催する、丹波篠山市展への出品作品を募集します。

部門 一般4部門（絵画、彫刻・工芸、書、写真）、特別部門（盆栽）

出品点数 1部門につき1人1点

※一般4部門の作品は全て作者個人の創作による未発表のものに限りません。特別部門・盆栽は、平成28年3月31日以前の発表作品は出品可能となります。

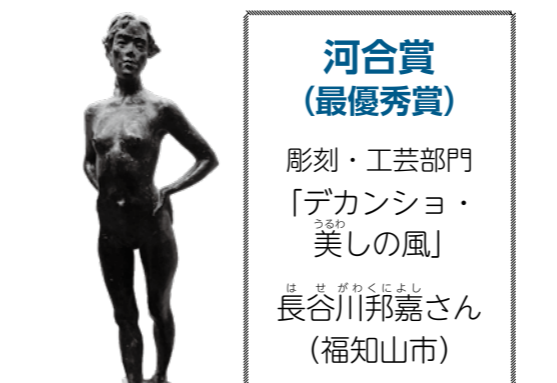
出品料 1点につき1000円（高校生は500円）

出品受付 11月6日（土）～7日（日）12時

※募集要項を必ずご確認ください。出品申込書に必要事項を記入の上、作品と一緒に丹波篠山市市民センターまでお持ちください。なお、募集要項の配布は9月上旬の予定です。配布開始はホームページで案内します。

河合賞（最優秀賞） 1点
一般部門の第1席から1点の

河合賞（最優秀賞） 1点
一般部門の第1席から1点の



第17回「丹波篠山市展」
とき 11月14日（日）～20日（土）9時30分～16時（11月18日（木）は19時30分まで、最終日は14時30分まで）、特別部門盆栽のみ11月18日（木）～20日（土）

表彰式 11月20日（土）13時～

※今後の新型コロナウイルス感染症状況により、内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ 社会教育課 552・5769

問い合わせ 市民衛生課 552・6253

市民みんなが環境について考えよう「環境セミナー」

今回の講演は、丹波篠山市を考える」で仮住まいをしており、移住も検討されている、アーティストのニキローレケさんを講師にお招きします。環境問題について考えるようになったきっかけや、自身の取り組み、アートを通して発信する意味などをお話ししていただきます。

人に優しく地球に優しい、そんな取り組みをみんなで見せてみませんか。

とき 9月5日（日）13時30分～15時30分

ところ 四季の森生涯学習センター

内容

- ①市が取り組む環境に関する事業の紹介
- ②「アートを通して環境問題」加をお控えください。

※当日発熱などのかぜ症状がある方、体調不良の方は参加をお控えください。



アーティスト Niki Roehrekeさん
東京都出身。ドイツ人の父と日本人の母の間に生まれる。資生堂、アシックス、Google、Appleなど、国内外のクライアントワークの他、アートは社会変革や平和的な活動のためのツールであると考え活動中。

地域のきずなで命を守る

～9月10日から16日まででは自殺予防週間です～

「食事が減った」「普段より疲れた顔をしている」「ため息が目立つ」「口数が減った・・・」など、家族や仲間など身近な人がいつもと様子が違うと感じることはありませんか？

悩みや不安を抱えて困っているときには、気軽に相談できる場所があります。

問い合わせ 社会福祉課 552・7102

<大切な人を守るためにできること>

- ♡気づき 家族や仲間の変化に気づいて声をかける
- ♡傾聴 本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける
- ♡つなぎ 早めに専門家に相談するよう促す
- ♡見守り 寄り添いながら見守る

こころの相談窓口一覧

健康課	電話番号	時間	曜日
健康課	594-1117	8:30～17:15	月～金曜日
社会福祉課	552-7102		
市ふくし総合相談窓口	552-5346	9:00～12:00 13:00～17:00	月～金曜日
丹波健康福祉事務所	0795-73-3654		
兵庫県のちと心のサポートダイヤル	078-382-3566	18:00～翌8:30 (土日祝は24時間)	
兵庫県こころの健康電話相談	078-252-4987	9:30～11:30 13:00～15:30	火～土曜日

特定非営利活動法人 自殺対策支援センターライフリンク「生きづらびっと」ライン相談



こころの体温計で気軽にこころの健康状態をチェック



9月9日は「救急の日」

小児に特化した市民救命士講習会

消防署 ☎594・1119

あなたの大切な人を救うために市民救命士講習会を受講し心臓蘇生法を学びましょう。2年に1度の再受講をおすすめします。

とき 9月4日（土）・5日（日）9時30分～12時30分

※受講はどちらか1日です。

ところ 丹波篠山市市民センター

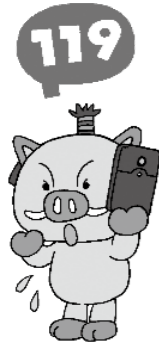
対象 市内に在住・在勤・在学の中・小学生以上

内容 AEDを使用した心肺蘇生法や、けがをしたときの止血法など

定員 先着10人

申込期限 8月27日（金）

申し込み方法 消防署または各出張所に備え付けの申込書（市ホームページにも掲載を提出）



ふるさとの貴重な動植物 ニホンヤモリ(ヤモリ科)



民家やその近くに生息していて、夜になるとエサの昆虫やクモなどを捕すために電灯近くや窓ガラスに現れることがあります。足の裏には細かい毛のようなものがあり、つるつるに見える窓ガラスでも小さな凹凸をとらえて歩くことができます。天敵のネコや鳥などに襲われると自分で尾を切り落とします。切れた尾はしばらく動いているので天敵が尾に気をとられている間に逃げることができます。ヤモリは民家の害虫を食べることから漢字で「守宮」や「家守」と書き、縁起物として大切にされる文化があります。

分布 秋田県以南の本州、四国、九州、対馬、中国東部、朝鮮半島

全長 10～14cm

篠山環境みらいの会会長・兵庫県立篠山東雲高等学校主幹教諭 田井彰人さんの協力

21 特集
617 街かどリポート
819 コロナウイルス感染症対策
1015 タウンヒックス
1617 市政レーダー
1819 ささやまホットステーション
2021 はぐくみ
2225 施設情報
2631 インフォメーション